

浜高教 組合員 様

2022.4.9

ロシア軍のウクライナ侵攻に対する抗議声明

浜高教 執行委員会

現在、ロシア軍のウクライナ侵攻により、多くの尊い生命が失われるとともに、破壊により都市は荒廃し、多くの人々のかけがえのない生活が危機に瀕する惨状が報道されています。また、核兵器の使用が危ぶまれる状況も報道されています。私たちは、ロシア軍によるウクライナ侵攻に対し、強く抗議します。

私たちは、日本国民として、また、教職員として、過去の戦争での悲惨な経験を基に、憲法 9 条の平和主義を重視します。憲法 9 条は、戦争と武力の行使を手段とした国際紛争の解決を、永久に放棄しています。これは、戦争からは、殺戮と破壊からは、何も生まれないという実感に基づく、意思なのだと思います。また、核兵器の廃絶を求めます。唯一の被爆国として、実体験に基づき、核兵器の廃絶を求め続ける人たちがいます。人が、想像を絶するその恐怖を、その苦しみを、もう二度と、誰にも体験させてはいけないという心念なのだと思います。

戦争反対。核兵器反対。私たちは、平和主義の精神に基づき、対話による国際紛争の解決を、希求します。

今、ウクライナでは、戦争が、子どもたちから、生命を奪っています。家族を、友人を、家を、学校を奪っています。教職員である私たちは、戦争の犠牲となる子どもたちを、胸に刻みます。そして、「教え子を再び戦場に送らない」という言葉を、強く胸に刻み直します。